

東日本大震災から5年 ふるさとを想う in よこはま開催報告

NPO 法人 かながわ避難者と共にあゆむ会



1. 開催概要

- 開催日時：2015年3月26日（土）13：30～16：00
 - 会場：横浜市開港記念会館（横浜市中区本町1-6）
 - 主催：特定非営利活動法人かながわ避難者と共にあゆむ会
 - 主管：東日本大震災から5年・ふるさとを想う in よこはま実行委員会
 - 後援：神奈川県、横浜市、福島県、岩手県
朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局
日本経済新聞横浜支局、東京新聞横浜支局、tvk テレビ神奈川
- この事業は、神奈川県共同募金会を通じ「タケダ・赤い羽根広域避難者支援プログラム」の助成を受けて実施しております。
- 参加者総数：381名
- | | |
|-----------------|------|
| 参加者の内訳；避難されている方 | 46名 |
| 避難者支援団体及び一般参加の方 | 306名 |
| 運営スタッフ・ボランティア | 29名 |

2. 本イベントの目的

東日本大震災から5年が過ぎ、震災によって避難生活を余儀なくされた方々にとって、ふるさとを思う気持ちはいつも変わらない。

神奈川県とその近傍に避難されている方々と、避難されている方々を支え被災地復興を願う神奈川県民が一同に会して、つながり、ともに歩む、“ふるさと”との絆を新たにすること、そして、現在の生活の場である神奈川県他避難先の住民、支援団体とも交流すること。

今回のイベントは、福島出身の日本を代表するオペラ歌手高橋啓三先生とその仲間たちにより、懐かしい歌の数々を披露していただき、参加いただいた皆さんと一緒に癒しのひとときを過ごしていただき、避難されている方々が主体的に生き生きとした笑顔とコミュニティを取り戻すことを目的として開催しました。

3. 報告

日本各地から桜の開花宣言が発表されている、まさに春本番間近かという3月36日(土)に、「東日本大震災から5年・ふるさとを想う in よこはま」が、横浜市の代表的建造物のひとつとして、多くの市民に親しまれている横浜市開港記念会館を会場にして開催されました。参加者は事前に応募いただき方で、開会の30分前から受付を開始しましたが、2階席を含め会場はすぐに満杯の状態となりました。

開催あたり、あゆむ会の鈴木理事長の開会挨拶が行われ、続いて東日本大震災で亡くなられた方々への哀悼を込めて参加者全員の黙祷が捧げられました。

第一部ははじめに四人のソリストによる重唱で滝廉太郎の「花」が披露され、続いてソプラノの神部佑実子さん、テノール浅野和馬さん、溝呂木さをりさんの日本や世界の名曲が披露され、歌の合間には曲の紹介と共に、曲にまつわるエピソードなども披露され、会場は和やかな雰囲気に包まれておりました。

休憩を挟んで第二部が始まり、高橋啓三さんの「待ちぼうけ」で口火が切られました。

その後も日本を代表するオペラ歌手の重厚なバスの響きが会場を魅了しておりました。



更に第二部では四人のソリストによる重唱、オペレッタやオペラの一部が披露されました。

その後は、会場の参加者と出演されたオペラ歌手の皆さんと一緒に、懐かしい昔のことやふるさとのことを思いながら、愛唱歌の数々を歌い、癒しのひとときを過ごしました。

結びに「かながわふるさと東北・つなぐ会」の今里代表から、今回のこの企画の開催に協力いただいた方へ、また避難者支援に尽力いただいている方々への感謝の言葉が述べられ、「ふるさとを想う in よこはま」は定刻に閉会しました。

閉会后、今回出演された四人のソリストとピアニストの方全員が会場の玄関口で来場された方々のお見送りをされました。また、参加された方々は素晴らしい歌の数々に感謝を申し上げ、またの再開を願っておられました。



4. プログラム内容

1時30分 開演

- ・開会挨拶 NPO法人かながわ避難者 と共にあゆむ会 理事長 鈴木 實
- ・会場全員の黙とう
- ・第一部
四人のソリストによる重唱 花
ソプラノ神戸佑実子 早春賦 花の街 野ばら 春の声
テノール浅野和馬 初恋 グラナダ カタリ
メゾソプラノ溝呂木さをり むこうむこう ゆりかご くちなし ます
- ・第二部
バス 高橋啓三 待ちぼうけ 荒城の月 日曜日 魔王
世界で一番美しい女性
四人のソリストによる重唱 高なる調べ 手を取りあつて
みなさんと一緒に歌いましょう 開場の参加者とオペラ歌手の皆さんとの合唱
- ・閉会挨拶 かながわ東北ふるさと・つなぐ会 代表 今里雅之

出演者の皆さん



バス： 高橋啓三 さん



ソプラノ：
神戸佑実子さん



テノール：
浅野和馬さん



メゾソプラノ：
溝呂木さをりさん



ピアノ：
渡辺知子さん



二階席まで満員の会場風景

5. ご来場者の声（アンケートの感想から）*一部省略、抜粋し記載

- 素晴らしいコンサートありがとうございました。準備等ご苦労様でした。歌も聞きなれた歌が多く楽しかったです。
- 母のふるさとで蚕を飼っておいりましたので桑の実をつんだのは飯館村でした。赤とんぼがたくさんいたので、とんぼの前で指をぐるぐる回してとんぼをつかまえました。その飯館村にはもう入れません。元の飯館村に戻る日まで陰ながら自分も支援していきます。
- 本日は素晴らしい歌声をありがとうございました。心癒されました。またの機会がありますことを願っています。皆様のご健康と長く続けられますことをお祈りいたします。
- 友人に誘われてきましたが、中々テノールとかソプラノとかの歌を聴くことが無いので良かったです。やはり、自分も歌うことが好きで私達も歌えて心すっきりしました。
- 生の声は久しぶりででした。今日は来られて本当に良かったです。期待以上でした。時々泣きそうでした。夫が福島氏の出身、横浜在住ですが私は2012～2014 仙台にいました。東北への思いはひとしおです。友人に福島出身の方いて、つい最近も職場で福島つながりの方が複数いらっしゃるのことがわかりました。何か出来ればという思いでいます。今日はほんとうにありがとうございました。
- 音楽は人の心の大きな癒しとなります。私もしっかりと堪能しました。ありがとうございます。これからもぜひご活躍をお祈りいたします。
- 曲の説明をしていただきましたので理解がより深まりました。多くのことを学ばせて下さってありがとうございました。心が清らかになりました。
- いつも楽しい企画をしていただき有難うございます。春になると梅、桃、桜が野山をそめ人々が田畑で働く姿が、また友と泳いだ海、汗を流して登った山々と新緑の木々が閉じたまぶたの裏によみがえって来ました。歌の力のすごさを知りました。また機会があれば開催をお願いします。
- 私はPCで申し込みしましたがハガキ付が良かったのでは・・・労力や経費大変でしょう。こう

いう形で一緒にやるってよいですね。県行政もさらに協力してもらって回数が増やせたら良いと思いました。

- ・ 日常の忙しさを忘れ心豊かなひと時を過ごすことが出来ました。又ぜひオペラを聞きたいと思えます。ありがとうございました。
- ・ とてもよく感動しました。久し振りに声をだした。うれしかった。ありがとうございます。
- ・ 音楽は心で歌うものと思っています。今回は素晴らしかった。心で歌う歌をお願いします。
- ・ ピアノ素晴らしい。思っていた(想像)していたストーリーとまったく違ってました。
- ・ 今後も避難者の方に希望を与える企画を継続してほしいと思いました。
- ・ 曲の説明を下さったり、よく聞くことができ良かったです。楽しかったです。皆さまいいお声で来てよかったです。
- ・ 偶然といってもよく、このチラシをいただく機会に恵まれこの会に参加できたことを嬉しい限りです。22歳で郡山を出て横浜に住むことが長くなってしまいましたが、1日も早いふるさとの復興を祈っております。本日は素晴らしいコンサートありがとうございました。オペラの歌手の皆さんと歌うことが出来た「みなさんと歌いましょう」は感動的でした。素晴らしい楽しく嬉しい1日でした。
- ・ 宮城山元町から昨年末大宮の県営住宅に入れ、足が地についた気持ちであります。長い長い御支援ありがたくお礼申し上げます。ありがとうございました。豊かな時間をいただきました。元気をいただきました。
- ・ アットホームな雰囲気がとてもよかったです。歌手の方のトーク素朴に良かったと思えます。
- ・ 歌は勇気を生み出します。本当です。



終演後 出演者全員で神奈川県内の避難者の方々の活動を支援する活動資金の寄付を呼びかけ190,400円のご協力をいただきました。ありがとうございました。

連絡先 NPO 法人かながわ避難者と共にあゆむ会 電話:045-312-1121(内 4142)
電話受付時間: 平日午後1時～午後5時 電話オペレーターに内線番号を教えてください。

